



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月29日

上場会社名 大同特殊鋼株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5471 URL <https://www.daido.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 武
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 鈴木 英男 (TEL) 052-963-7501
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	287,127	△23.1	1,861	△91.1	4,102	△80.8	1,623	△89.9
2020年3月期第3四半期	373,560	△9.2	20,953	△19.3	21,390	△20.4	16,152	△3.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 15,755百万円(△5.9%) 2020年3月期第3四半期 16,749百万円(118.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第3四半期	円 銭 38.08	円 銭 —
2020年3月期第3四半期	378.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年3月期第3四半期	百万円 633,967	百万円 323,189	% 45.4
2020年3月期	625,899	309,136	43.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 287,531百万円 2020年3月期 273,561百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 70.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	400,000	△18.4	6,000	△75.8	7,500	△69.1	3,500	△68.1	82.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期3Q	43,448,769株	2020年3月期	43,448,769株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	821,253株	2020年3月期	820,446株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期3Q	42,628,064株	2020年3月期3Q	42,629,153株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足説明資料	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況で推移したものの、輸出や鉄工業生産に持ち直しの動きがみられました。しかしながら、足元では感染症が再拡大しており、先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

このような経済環境の中、特殊鋼の主要需要先である自動車関連の受注は、第1四半期を底に回復基調となり、第3四半期では前年同期の水準まで回復しましたが、累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響による世界各地での自動車販売減少と、それに伴う日系自動車メーカーの車両生産減少を受け、前年同期比で減少しました。産業機械の受注は経済活動の停滞で減少していましたが、第3四半期から回復基調となり、また半導体関連の受注は、設備投資の回復により堅調に推移しました。この結果、鋼材売上数量は前年同期比で減少しました。一方、原材料・資材関係については、鉄屑価格は第3四半期から国内需給のタイト化及び国際価格の上昇により急激に高騰しましたが、累計期間においては前年同期よりも安値で推移し、また製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格も下向きとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は前年同期比864億33百万円減収の2,871億27百万円、経常利益は前年同期比172億88百万円減益の41億2百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比145億28百万円減益の16億23百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①特殊鋼鋼材

構造用鋼は、主要需要先である自動車関連や産業機械向けの受注減少を受け、前年同期比で数量が減少しました。工具鋼も、足元では自動車関連の受注を中心に回復の動きがあるものの、前年同期比で数量が減少しました。主要原材料である鉄屑価格は、第3四半期から急激に高騰したものの、累計期間においては前年同期よりも安値で推移し、また製鋼工程で使用する黒鉛電極等の副資材価格も下向きしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の特殊鋼鋼材の売上高は、売上数量の減少により前年同期比30.1%減少の990億45百万円、営業損益は前年同期比73億78百万円減益の20億95百万円の損失となりました。

②機能材料・磁性材料

ステンレス鋼および高合金は、半導体関連の受注は設備投資の回復により堅調に推移しましたが、自動車関連や産業機械向けの受注は回復基調にあるものの、前年同期比では数量が減少しました。磁石製品、及び粉末製品についても、自動車関連需要で回復基調となりましたが、前年同期比では売上高が減少しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の機能材料・磁性材料の売上高は、売上数量の減少により前年同期比17.9%減少の1,034億69百万円、営業利益は前年同期比48億54百万円減益の56億46百万円となりました。

③自動車部品・産業機械部品

自由鍛造品は、半導体関連や重電需要が好調に推移しましたが、航空機需要等が減少し、売上高は前年同期比で減少しました。エンジンバルブ部品・型鍛造品は自動車生産の減少を受け、精密鋳造品は、自動車生産の減少に伴うターボ関連製品の需要が減少し、それぞれ売上高は前年同期比で減少しましたが、需要については第1四半期を底に回復基調となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の自動車部品・産業機械部品の売上高は、売上数量の減少により前年同期比21.7%減少の580億27百万円、営業損益は前年同期比39億67百万円減益の34億41百万円の損失となりました。

④エンジニアリング

自動車部品向け熱処理炉受注の減少およびメンテナンス事業の案件減少により、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比23.8%減少の147億19百万円、営業利益は前年同期比21億18百万円減益の4億66百万円となりました。

⑤流通・サービス

当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比3.8%減少の118億64百万円、営業利益は前年同期比7億74百万円減益の12億87百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ80億67百万円増加し6,339億67百万円となりました。総資産の増加の主な内訳は、「現金及び預金」の増加60億32百万円、「投資有価証券」の増加189億74百万円、減少の主な内訳は、「受取手形及び売掛金」の減少77億37百万円、「たな卸資産」の減少99億10百万円であります。

「現金及び預金」は、新型コロナウイルス感染症に伴う事業や金融環境の変化に対応するため手元資金の流動性を高めたことにより増加しました。「投資有価証券」は、保有株式の時価の上昇等により増加しました。「受取手形及び売掛金」および「たな卸資産」は、主として売上減少により減少しました。

また、当社グループの当第3四半期連結会計期間末の非支配株主持分を含めた純資産額は、前期末に比べ140億53百万円増加し3,231億89百万円となりました。純資産の増加の主な内訳と要因は、保有株式の時価の上昇等による「その他有価証券評価差額金」の増加139億47百万円であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は45.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きは依然として不透明な状況ではありますが、経済活動が段階的に進められるなかで、持ち直しの動きが続くことが期待されます。当社の主要需要先である自動車関連の受注は、第3四半期で前年同期の水準まで回復しましたが、この傾向は継続するものと見込まれます。産業機械の受注も、経済活動の回復により増加基調へ転じており、第4四半期以降において回復が本格化することが見込まれますが、航空機需要等一部の分野では回復に時間が掛かると見込んでいます。一方、原材料となる鉄スクラップ価格は国内需給のタイト化、及び国際価格の上昇を受け、引き続き高値で推移する見込みであり、受注量増加のプラス面を相殺することが見込まれます。このような環境下、新型コロナウイルスの感染防止に努めるとともに、固定費を中心とした徹底的なコスト圧縮策を推し進めた事業活動を引き続き図ってまいります。

通期の業績につきましては、足元の受注状況及び原材料市況を反映させ、売上高4,000億円、営業利益60億円、経常利益75億円、親会社株主に帰属する当期純利益35億円へと修正しておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大により、世界経済に深刻な影響を与えた際は変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,558	65,591
受取手形及び売掛金	102,254	94,516
電子記録債権	16,027	15,402
たな卸資産	127,174	117,263
その他	5,721	8,944
貸倒引当金	△93	△70
流動資産合計	310,641	301,648
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	83,464	82,802
機械装置及び運搬具(純額)	101,976	102,133
その他(純額)	52,051	50,322
有形固定資産合計	237,492	235,258
無形固定資産		
	1,619	2,339
投資その他の資産		
投資有価証券	65,330	84,305
退職給付に係る資産	5,262	5,490
その他	5,728	5,007
貸倒引当金	△175	△83
投資その他の資産合計	76,145	94,720
固定資産合計	315,257	332,319
資産合計	625,899	633,967

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	40,828	36,835
電子記録債務	25,993	20,417
短期借入金	80,927	82,871
コマーシャル・ペーパー	17,000	—
未払法人税等	2,861	565
賞与引当金	7,576	2,824
その他の引当金	2,691	1,633
その他	20,540	18,228
流動負債合計	198,419	163,376
固定負債		
社債	35,000	35,000
長期借入金	59,508	80,271
その他の引当金	3,633	4,895
退職給付に係る負債	10,762	11,466
その他	9,438	15,768
固定負債合計	118,344	147,401
負債合計	316,763	310,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	37,172	37,172
資本剰余金	30,449	30,449
利益剰余金	212,136	212,584
自己株式	△3,656	△3,659
株主資本合計	276,101	276,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,415	18,363
繰延ヘッジ損益	△3	△47
土地再評価差額金	1,537	1,537
為替換算調整勘定	712	△289
退職給付に係る調整累計額	△9,203	△8,580
その他の包括利益累計額合計	△2,539	10,984
非支配株主持分	35,574	35,658
純資産合計	309,136	323,189
負債純資産合計	625,899	633,967

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	373,560	287,127
売上原価	310,178	248,085
売上総利益	63,382	39,041
販売費及び一般管理費	42,428	37,180
営業利益	20,953	1,861
営業外収益		
受取利息	139	114
受取配当金	1,749	1,344
雇用調整助成金	2	3,081
持分法による投資利益	504	244
その他	649	1,027
営業外収益合計	3,046	5,811
営業外費用		
支払利息	597	638
環境対策引当金繰入額	417	1,265
固定資産除却損	443	661
為替差損	261	337
その他	889	666
営業外費用合計	2,608	3,570
経常利益	21,390	4,102
特別利益		
投資有価証券売却益	33	118
固定資産売却益	7,638	—
特別利益合計	7,671	118
特別損失		
固定資産圧縮損	2,772	—
投資有価証券評価損	654	—
その他	236	—
特別損失合計	3,664	—
税金等調整前四半期純利益	25,398	4,221
法人税、住民税及び事業税	6,334	1,566
法人税等調整額	1,998	443
法人税等合計	8,332	2,010
四半期純利益	17,065	2,210
非支配株主に帰属する四半期純利益	913	587
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,152	1,623

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	17,065	2,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,186	13,941
繰延ヘッジ損益	11	△43
為替換算調整勘定	△817	△1,015
退職給付に係る調整額	△681	675
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△13
その他の包括利益合計	△316	13,544
四半期包括利益	16,749	15,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,825	15,239
非支配株主に係る四半期包括利益	923	515

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	141,692	126,092	74,118	19,317	12,339	373,560	—	373,560
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	45,345	11,636	17,013	660	10,166	84,821	△84,821	—
計	187,037	137,728	91,131	19,977	22,505	458,381	△84,821	373,560
セグメント利益	5,282	10,500	525	2,584	2,062	20,955	△2	20,953

(注)1 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	特殊鋼鋼材	機能材料・ 磁性材料	自動車部品 ・産業機械 部品	エンジニア リング	流通・ サービス	合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高								
外部顧客への 売上高	99,045	103,469	58,027	14,719	11,864	287,127	—	287,127
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	35,758	8,304	13,234	453	8,946	66,697	△66,697	—
計	134,803	111,774	71,262	15,172	20,810	353,824	△66,697	287,127
セグメント利益 又は損失(△)	△2,095	5,646	△3,441	466	1,287	1,862	△1	1,861

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足説明資料

(1) 当第3四半期のセグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	売上高		営業利益	
	2020年12月 第3四半期	前年同期差 増減額 (増減率)	2020年12月 第3四半期	前年同期差 増減額
特殊鋼鋼材	99,045	-42,646 (-30.1%)	△2,095	-7,378
機能材料・磁性材料	103,469	-22,622 (-17.9%)	5,646	-4,854
自動車・産業機械部品	58,027	-16,090 (-21.7%)	△3,441	-3,967
エンジニアリング	14,719	-4,597 (-23.8%)	466	-2,118
流通・サービス	11,864	-474 (-3.8%)	1,287	-774
調整	—	—	△1	1
計	287,127	-86,433 (-23.1%)	1,861	-19,092

(2) 要約連結損益計算書(四半期累計期間)

(単位：百万円、%)

	2020年12月 第3四半期	前年同期差 増減額 (増減率)
売上高	287,127	-86,433 (-23.1%)
営業利益	1,861	-19,092 (-91.1%)
営業外損益	2,241	1,803
経常利益	4,102	-17,288 (-80.8%)
特別損益	118	-3,888
税引前純利益	4,221	-21,176
法人税等	2,010	-6,322
非支配株主に帰属する 当期純利益	587	-325
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,623	-14,528 (-89.9%)

(鋼材売上数量(単体) 653千t、前年同期差 266千t減)

(3) 当第3四半期の経常利益増減要因(前年同期対比)

(単位：億円)

(参考：原料・為替市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	2019年12月 第3四半期	2020年12月 第3四半期	
1. 原燃料等市況	133	1. 販売数量減少	203	H2建値 (千円/t)	21.7	21.0
2. 固定費の改善	71	2. 販売価格下落	100	ニッケル(LME) (\$/1b)	6.5	6.4
3. 営業外損益	18	3. 内容構成差他	78	為替レート(TTM) (円/\$)	109.7	107.1
		4. 変動費の悪化	14			
計(a)	222	計(b)	395			
		差引(a)-(b)	-173			

(4) 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 2020年 3月末	当第3四半期 2020年 12月末	増減	科目	前期 2020年 3月末	当第3四半期 2020年 12月末	増減
流動資産	310,641	301,648	-8,993	負債	316,763	310,778	-5,985
現金	59,558	65,591	6,032	営業債務	66,821	57,252	-9,568
営業債権	118,281	109,919	-8,362	有利子負債	193,881	199,422	5,540
たな卸資産	127,174	117,263	-9,910	その他	56,060	54,103	-1,957
その他	5,627	8,873	3,246				
固定資産	315,257	332,319	17,061	純資産	309,136	323,189	14,053
有形固定資産	237,492	235,258	-2,234	株主資本	276,101	276,546	444
無形固定資産	1,619	2,339	720	その他の包括利益 累計額	△2,539	10,984	13,524
投資その他の資産	76,145	94,720	18,575	非支配株主持分	35,574	35,658	83
資産合計	625,899	633,967	8,067	負債純資産合計	625,899	633,967	8,067

(5) 予想セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円、%)

	予想 2021年 3月期	売上高		営業利益	
		増減額	前期差 (増減率)	予想 2021年 3月期	前期差 増減額
特殊鋼鋼材	139,400	-42,274	(-23.3%)	△4,000	-9,148
機能材料・磁性材料	145,000	-22,356	(-13.4%)	10,500	-3,138
自動車・産業機械部品	80,900	-16,443	(-16.9%)	△2,700	-3,130
エンジニアリング	19,900	-6,683	(-25.1%)	700	-2,260
流通・サービス	14,800	-2,663	(-15.3%)	1,500	-1,081
調整	—	—		—	-9
計	400,000	-90,421	(-18.4%)	6,000	-18,768

(鋼材売上数量(単体) 956千t、前期差 220千t減)

(6) 業績予想

(単位：百万円、%)

	予想 2021年 3月期	増減額	前期差 (増減率)
売上高	400,000	-90,421	(-18.4%)
営業利益	6,000	-18,768	(-75.8%)
経常利益	7,500	-16,798	(-69.1%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,500	-7,487	(-68.1%)

(7) 予想経常利益増減要因(前期対比)

(単位：億円) (参考：原料・為替市況)

増益要因	金額	減益要因	金額	前期 2020年3月期	予想 2021年3月期		
1. 原燃料等市況	121	1. 販売数量減少	184	H2 建値 (千円/t)	20.6		
2. 固定費の改善	80	2. 販売価格下落	109			ニッケル(LME) (\$/1b)	6.3
3. 営業外損益	20	3. 内容構成差他	92				
		4. 変動費の悪化	4				
計(a)	221	計(b)	389		106.6		
		差引(a) - (b)	-168				

(参考) 業績の推移

(単位：百万円)

	実績				予想
	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
売上高	445,122	505,219	543,255	490,421	400,000
営業利益	25,513	36,218	33,815	24,768	6,000
経常利益	26,373	36,130	34,343	24,298	7,500
親会社株主に帰属 する当期純利益	16,386	23,920	21,182	10,987	3,500